

5. 医療・保健・福祉の方針

(1) 基本的な考え方

どの地域に住んでいても、すべての市民が生きがいと誇りを持って安心して暮らせるように、医療・保健・福祉サービスの提供に努めるとともに、ユニバーサルデザインの導入や高齢者などの交通弱者に配慮した適切な施設配置、交通ネットワーク・公共交通の充実などを図ります。

(2) 医療

地域医療体制の有効活用および地域的偏在を解消するため、病院・診療所などの医療施設間の機能分担と連携強化に努めます。

公立松任石川中央病院においては、多様化する地域の医療ニーズに応えるべく、病院建て替えに向けた検討を進めるとともに、公立つるぎ病院との有機的連携を促進します。

また、石川県医療計画ならびに石川県地域医療構想に基づき、石川中央医療圏の関係機関との連携により、初期救急医療体制の強化や急性期医療体制の充実に努めます。

慢性疾患の増加や医療の高度化などの新たな医療需要に対応するため、公立松任石川中央病院での地域がん診療連携拠点病院への取り組みや、災害時の医療提供体制など、医療機能の強化に努めます。



地域包括福祉支援センターおかりや

(3) 保健

健康診査や保健指導の充実、健康づくりの推進により、市民一人ひとりが主体的に生きがいを持ち、健康的な生活習慣を実践するとともに、乳幼児期から高齢期まで、ライフステージに応じた保健サービスの充実を図ります。

なお、市民主体の健康づくりの具体的な取り組みについては、「白山市健康プラン」に基づき推進します。

(4) 福祉

(4)-1 地域福祉

今日の本格的な少子高齢社会においては、市民と行政がそれぞれの役割を存分に発揮し、連携しながら、地域で支え合う福祉社会の確立が重要であり、民生委員児童委員および福祉協力員の活動を中心として、ボランティアや住民への支援などにより、地域福祉を支える体制づくりを推進します。

福祉ふれあいセンターを核として、地域福祉の中核的機能を担う社会福祉協議会や市民協働・ボランティアセンターなどを配置し、これらを拠点に地域福祉活動を充実します。

なお、地域福祉の具体的な取り組みについては、「白山市地域福祉計画」に基づき推進します。



福祉ふれあいセンター

(4)-2 高齢者福祉

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく、安心して暮らし続けられるように、地域包括ケアシステムの深化・推進に努めるとともに、地域社会全体での福祉施策を推進します。

高齢者が安全で安心して生活できるよう、認知症高齢者グループホームや地域密着型特別養護老人ホームなどの整備を推進します。

なお、高齢者福祉の具体的な取り組みについては、「白山市高齢者福祉計画および介護保険事業計画」に基づき推進します。



高齢者ふれあいサロン

(4)-3 障害者福祉

障害のある人が地域の中で自立して安心して日常生活を送れるよう、保健・福祉・医療・就労などの関係機関が連携し、支援する地域包括ケアシステムの構築に努めるとともに、地域バランスを考慮した、日常生活圏域単位での障害者支援施設などの整備などにより、住まいの場や日中活動の場の充実を図ります。また、障害のある子どもの個性に応じた支援ができるよう、保健・福祉・医療・教育などの連携体制の強化に努めます。

障害のある人が住み慣れた地域において安全で安心して生活できるよう、障害のある人の視点やユニバーサルデザインの考え方に立ち、公共交通機関、道路、公園、建築物などのバリアフリー化のみならず、情報バリアフリーとなるよう環境整備を進めます。

なお、障害者福祉の具体的な取り組みについては、「共生のまち白山プラン」に基づき推進します。



ヘルプマーク

(4)-4 児童福祉

子育て環境の充実を推進するため「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、核家族化や女性の社会進出による保育ニーズの増大などを踏まえ、子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを支援する環境整備を進めています。

多様なニーズに対応した保育サービスの充実や、子どもを受け入れる保育所・認定こども園や放課後児童クラブなどの環境整備の支援により安心して仕事と子育てを両立できる環境づくりを推進します。

また、子育て支援情報や子どもの健康に関する情報の発信を充実するなど、様々な保育資源を整えることにより、市民が安全・安心な子育てができるよう、充実した環境づくりを推進します。

